

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	歴史研究所	事業No.	326
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H15	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市歴史研究所第4期中期計画	
法令・例規等			飯田市歴史研究所条例		
			飯田市歴史研究所管理運営規則		
事業目的		対象	市民 飯田・下伊那の文書、絵図等資料、歴史的建造物・景観 歴史研究に携わる人及び興味を持つ人		
		意図	飯田・下伊那の歴史への関心を高め、理解を深める 収集、調査研究、保存、聞き取り調査等により地域の歴史文化を解明する研究者・研究団体の育成、支援を行う		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	<p>関係機関や地域の人々と協働して歴史史料の調査研究を行い、保存継承を進めました。座光寺地区では座光寺支所文書の協働調査を行い地域史講座(1回51人)等により調査研究の成果を地域へ還元することができました。</p> <p>また各研究員が調査研究の成果を、地域史研究集会や年報等で公表し、市民に還元することができました。</p> <p>教育普及活動として地域での学びの場を設け、飯田アカデミア(4回301人)、地域史講座(4回205人 座光寺含む)、学校等への出前講座(13回426人)、ゼミ(84回505人)等を開催しました。</p>		調査研究員・文書整理補助員配置		9,488						
			調査研究経費		1,892						
			研究集会の開催、年報発行		1,470						
			アカデミア、地域史講座など講座の開催		474						
			情報誌発刊、市民研究員の育成など		591						
			市誌編さん事務経費		92						
			その他の経費		0						
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	刊行物、論文数		件	10	12	10	14	13	11		
	地域史研究集会参加者数		人	130	88	130	156	160	163		
	飯田アカデミア、地域史講座参加者数		人	300	334	350	306	380	506		
1年度決算(千円)	予算額		15,889	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		14,007	(そ) 諸収入(コピーサービス) 30千円							
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 出版物売却代 1,133千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,163								
一般財源		12,844									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	11	1	14,497	12,850	歴史研究所調査研究事業費
2	1	10	5	8	11	2	1,241	1,065	歴史研究所教育事業費
3	1	10	5	8	11	4	151	92	市誌編さん事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>年度末、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、講座やゼミが中止や延期となってしまいました。開催できなかった講座、ゼミについて今後どのように市民への還元を行っていくか検討する必要があります。</p> <p>歴史研究所が開催する地域史研究集会や地域史講座等への若者の参加が少なく、今後の地域に残る多様な史料を継承するための調査・研究を行う人材に不安があります。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>新型コロナウイルス感染症拡大対応のみならず、人々が集えなくても学習できる場をどのように提供できるか検討が必要です。歴史に対する興味を持ってもらうため、小学生、中学生、高校生、それぞれの年代で伊那谷の自然と文化に対する学習の場の提供を行う必要があります。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>教育普及活動は、美術博物館や図書館などと連携し、調査・研究活動の成果を市民へ還元するために学びの場の提供に取り組めます。</p> <p>また、地域とともに調査研究を進めるなかで、地域史研究の人材の発掘・育成にも取り組めます。</p>							